

知って備える 防災メモ

第57回



弾道ミサイル発射時の 情報収集と避難行動について

8月と9月に、北朝鮮西岸から発射された弾道ミサイルが、北海道の上空を通過し、太平洋上に落下しました。

総務省消防庁は、弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する可能性があったことから、緊急情報である『全国瞬時警報システム』（Jアラート）を発信し、その情報をもとにテレビや防災行政無線、エリアメールなどで、幅広く情報の伝達が行われましたが、実際にどのように対応すればいいか、皆さん戸惑われたかと思えます。

弾道ミサイルは、種類や発射の方法などにもよりますが、北朝鮮から北海道までの距離では、およそ10分で到達します。

短い時間の中でできることは限られます。弾道ミサイルが発射された場合は、身の安全を守ることを最優先に考えてください。屋外にいるときは、建物に避難し、屋内にいると

きは、ミサイル着弾時の爆風や破片などの被害を避けるために、窓から離れた場所に避難してください。

8月29日、9月15日の弾道ミサイル発射時において、市の登録制メールを配信できなかったほか、ミサイルが通過したことをお知らせする防災行政無線やコミュニティFM（FMびゅー）による情報伝達が十分にできませんでした。相次いで不具合が発生したことを真摯に受け止め、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

▼問い合わせ
総務グループ

(☎⁸⁵1130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

マンドリンアンサンブル ダ・カーポ

『マンドリンアンサンブルダ・カーポ』は、平成26年に発足したサークルです。

現在、メンバーは40代から70代までの男女10人。毎月第1・3土曜日の13時から16時まで、若草つどいセンターで活動しており、共演することもある札幌や苫小牧の方と合同で練習することもあります。

「私たちのサークルは、月に1回のペースで、主に登別・室蘭・伊達にある医療施設や介護施設、福祉施設などに出向いてボランティアで演奏を行い、入所者などに音楽を楽しんでもらっています」と話すのは、代表の新岡さん。



みんなで一つの曲を作り上げたときに感じる心のつながり

平成28年3月に入会した柏谷千圭子さんは「クリスマスコンサートを見て、私も演奏したいと思いました。聴いてくれる方の中には、涙を流して聴いてくれる方もいらっしゃるの、いつまでも活動を続けていきたいと思っています」とサークルへの思いを語ってくれました。見学や入会を希望する方は、新岡さん (☎⁴³5038) まで。



▲5つの楽器で一つの音楽を作り出す合奏の練習風景

「私たちがサークルは、月に1回のペースで、主に登別・室蘭・伊達にある医療施設や介護施設、福祉施設などに出向いてボランティアで演奏を行い、入所者などに音楽を楽しんでもらっています」と話すのは、代表の新岡さん。

新岡さんは「聴いてくれる人にも一緒に歌や手拍子で参加してもらえよう、誰もが知っている曲を選曲しています」とみんな楽しんでもらうためのこだわりを話してくれました。